

DOCAVE 移行

FOR MICROSOFT® SHAREPOINT® 移行

レガシー システムや Microsoft SharePoint の旧バージョンから Microsoft SharePoint Server/SharePoint Online へ、組織のコンテンツをスピーディーに統合します。

ビジネス上の利点:



効率の
よい移行



レガシー資産の
保護



フレキシブルな
移行作業と
スケジュール設定



OFFICE 365 への
高速移行

ポイント アンド クリック方式のインターフェイスで、レガシー環境から SharePoint へのデータ転送を簡単に実行し、新環境への移行作業時間を大幅に削減することができます。

移行元レガシー コンテンツに存在する重要データとその関連メタデータが破損することなく移行されることを保証し、ビジネス ユーザーに対する悪影響を最低限に抑制します。

最小単位、またはコンテンツ一括移行やジョブのスケジュール一括設定も可能であるため、管理者はビジネス要件に合わせた移行ジョブを計画することができます。

ファイル サーバー・Livelink・SharePoint の旧バージョンから Office 365 へ、スピーディーで簡単な移行を実行します。

大容量の移行にも対応しており、データはアクセス権限やメタデータを残したまま移行可能です。

DOCAVE 移行を利用してできること

DocAve 移行 for SharePoint は、ビジネス上の重要なコンテンツを、レガシー システムや旧バージョンの SharePoint などの情報環境から多機能な最新版 SharePoint へと移行する、効率的かつ高コストパフォーマンスなソリューションを提供します。

DocAve によるデータ移行機能の革新的な特徴は、関連するメタデータをすべて保持したまま最小粒度のコンテンツやアイテムを移行できるという点です。

SharePoint 管理者は、複数のコンテンツ ソースを単一のプラットフォームに集約する計画・スケジュール設定・導入を簡単に実行することができます。これにより、IT 投資から最大限の利益を引き出すとともに、Microsoft の最新製品をより便利に活用することが可能になります。

Microsoft Partner

Gold Application Development
Gold Cloud Platform
Gold Cloud Productivity
Gold Collaboration and Content

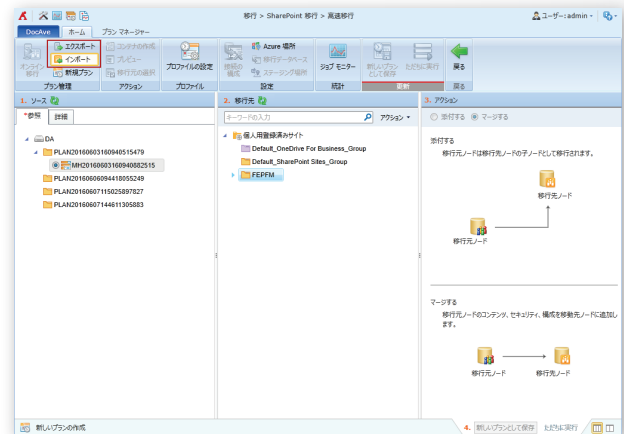
30日間無料評価版

www.AvePoint.co.jp

技術概要

- 管理者ロールに合わせて移行プランの管理を割り当てます。
- 作業前に移行元環境内のコンテンツをスキャンして移行範囲を指定し、マッピングの必要な禁則文字・ユーザー権限・ユーザー名・ユーザー ドメインなどの既存要素を検出することで、SharePoint や SharePoint Online への移行を正しく実行します。
- 粒度の高いコンテンツ選択機能、およびコンテンツ プロパティを元にカスタマイズ可能なフィルター処理オプションを使用して移行プラン構成のテスト検証を実行し、ビジネス ニーズに則った移行コンテンツの選択を実現します。
- Office 365 環境への移行中に、SharePoint 環境の構成を自動的に実行します。
- 自社所有の Azure ストレージを利用することも、移行用の一時利用 Azure ストレージを活用することも可能です。一時利用の場合は、Azure ストレージの作成・暗号化・契約解除まで、追加料金なしで利用することが可能です。
- まず完全移行を行い、さらに増分移行を引き続き実行するという形をとることでネットワーク帯域リソースを最適化し、最終移行ジョブ以降に更新のあったコンテンツのみを移行することができます。
- カスタム マッピング機能を使用してセキュリティ設定・属性・プロパティなどのメタデータをすべて完全に保持することにより、既存エレメントへの適切な参照や Managed Metadata などの SharePoint フィーチャーの活用が可能になります。
- SharePoint 既定機能・SharePoint Designer を利用して作成されたワークフローを移行することが可能です。Nintex ワークフローの移行にも対応しています。
- ユーザー通知・カスタム化フォーム・ビュー・InfoPath フォームなどのアクションを、Office 365 - SharePoint Online に移行することが可能です。
- 既存ネットワークのオンライン・オフライン状態を問わず、ファイアウォール間での安全なデータ転送を実行します。
- カスタマイズ可能なスケジュール機能を活用して移行元環境と移行先環境の同期を維持し、移行プロジェクト実行に伴うビジネスへの影響を最小限に抑えます。これによりユーザーは、SharePoint がロールアウトされるまで移行先 SharePoint 環境で作業を続けることができます。
- 既存の移行プランを優先し、組織内の計画に合わせたプロジェクトの実行を保証します。
- 詳細ジョブ レポートで移行プロジェクトの状態を表示・追跡します。

<p>対応移行元*</p>	<ul style="list-style-type: none"> Documentum eRoom 7.2 以上 Exchange パブリック フォルダー 2000-2013 EMC Documentum Documentum 5.3 SP6 以上 ファイルシステム / ネットワーク ファイル シェア Lotus Notes 6.5 以上 Lotus Quickr 6.5.1 以上 OpenText Livelink 9.5 以上 Microsoft Office SharePoint Server (MOSS) 2007、SharePoint Server 2010、SharePoint Server 2013
<p>対応移行先</p>	<ul style="list-style-type: none"> SharePoint Online SharePoint Server 2016 SharePoint Server 2013 SharePoint Server 2010 SharePoint Foundation



クリックするだけの簡単な操作で、SharePoint への移行を実行します。
本リリースで新たに追加される機能の一覧については、[DocAve 6.8 リリース ノート](#) をご参照ください。

DocAve
に関するお問い合わせ

電話: (03) - 6853 - 6300
E-mail: SalesJP@AvePoint.com

AvePoint Japan 株式会社
〒108-0074
東京都港区高輪4-10-18
京急第一ビル 11F

その他詳細につきましては www.avepoint.co.jp をご覧ください。
アポイントジャパン ブログ www.avepoint.co.jp/community/ をご覧ください。
詳細に関してはお問い合わせください。